

今、この人に **いんたびゅう Interview**

高島市森林組合で働くフォレストワーカー

ダグラス ヒートン さん

高島に来て、フォレストワーカーというやりたい仕事が見つけれられました。林業に携わるようになり、常に“安全”に対して厳しくなりましたね。



■2016年に来日されたということですが、以前から日本に興味は持っておられたのですか？

黒澤明監督作品やジブリの映画が好きでよく見ていましたが、日本に憧れがあったということではなく、たまたま東京で英会話講師をしていた友人から誘われて興味を持ち、イギリスで英会話講師の資格を取得してから来日しました。母国では銀行員の仕事でパソコンを使ったデスクワークでしたが、銀行員も自分が本当にやりたい事でもなかったのも、何となくチャレンジの気持ちで日本に来ました。

■日本で英会話講師をするということで、日本語の勉強はされたのですか？

日本語はできないまま来日しましたが、東京や横浜など、都会で住むには日本語ができなくても全く問題はありませんでした。ただ、地方に来ると日本語は必要になりますね。高島に来てからは日本語漬けなので、今は日本語が聞き取れるようになり、話すこともできるようになりましたが、まだまだです。英語での会話は、家に帰って妻と話すだけです。難しい会話は英語で、簡単なことは日本語で話しています。

■高島には2021年のコロナ禍で来られたということですが、それは林業をしたいという思いからだったのでしょうか？

そういうわけではありません。2019年に横浜から京都に移りましたが、翌年、新型コロナ禍で働き方が一変しました。オンライン授業への対応に切り替わり、室内だけの仕事にストレスを感じるようになりました。心機一転、妻と相談して京都へのアクセスも良い琵琶湖岸の高島市への移住を決めたことで、このまちで仕事をしたいと思うようになりました。ハローワークに通い、見つけたのが高島市森林組合の林業従事者の募集でした。初めての仕事で日本語もどれくらい必要か不安でしたが、飛び込むことにしました。

■デスクワークから一転、体を動かす仕事に転職されましたが、今は仕事にどのように向かっておられますか？

今は20～40歳代のフォレストワーカー6人がチームとなって木の伐採などの仕事に取り組んでいます。山の中では危険が伴い、マムシやハチ、漆、熱中症も含め、気を抜けない仕事です。ですからチームでの仕事は安全に対して厳しい姿勢で取り組んでいます。私自身はフォレストワーカーとして研修2年目で、来年卒業します。私より若い職員さんも入って来られたので、フォレストリーダーに向けてキャリアアップも目指さないといけないと思っています。

■日本に来られて、日本人のイメージに変化はありましたか？

そうですね。日常のことで言うと、自転車の乗り方ですね。逆走行で走っている人をよく見ます。イギリスにいた頃から、日本人はルールに厳しいイメージがありました。そのイメージは変わらないのですが、自転車の乗り方だけはルールがあまり守られていないことに驚いています。それと、ルールは大事ですがフレキシブルさも必要です。例えば、私の仕事の木の伐採ですが、伐採方法を習ったとしても、一つとして同じ木はないので、一つの方法で全ての木が伐れるわけではありません。固定観念に縛られず、柔軟に考えることも必要だと思っています。

■フォレストワーカーの仕事に携わって2年目ということですが、この仕事は好きな仕事となりましたか？

はい、やりたい仕事がようやく見つけられました。この仕事に関わって、それまではあまり意識していなかった「安全」に対して、今は仕事以外でも一番に気にする言葉になりました。また、林業は農業に似ています。スギやヒノキは人が植えた木で、それを材木にするために育てています。ですから、本当の自然とは言えず、時間のあるときは天然森を求めて山に登り、そこでリラックスしていますね。

■最後に今後の目標とメッセージをお願いします。

近い目標としては、仕事に必要な丸太を集める「グラップル」やショベルカーを

▲「今は、秋時間で朝7時から4時までの勤務ですが、夏は6時から3時までの勤務でした。家が琵琶湖岸なので、今年の夏は帰宅すると琵琶湖でよく泳いでいました。カヌーもたまにしています。休日は、自宅の庭に自作したレンガのオープンでパンを焼いています」

●プロフィール●

英国イングランドのピーターバラ出身。大学を卒業後、銀行員として働いていたが、日本に住む友人から誘われ、2016年に英会話講師として来日。東京、横浜で英会話講師として働いた後、2019年に日本人女性との結婚をきっかけに、講師の仕事を京都に移す。その後、新型コロナウイルスの影響で状況が一変し、オンライン授業への対応や感染対策に追われる日々ストレスを感じるようになり、2021年高島市マキノ町へ移住。現在、高島市森林組合で林業作業士（フォレストワーカー）として働く。



▲「高島市は70%が森林、イギリスは7%なので、母国で林業の仕事をするのは厳しいですね。高島市森林組合では年に12,000㎡伐採しています。林業の仕事始める前に、業務で扱うためのチェーンソーの資格を取得しました」

運転できる免許を取得するつもりです。林業という体が大きくないといけない、と思う方がいるかもしれませんが、こうした重機で仕事をするので、どんな体格の人でも大丈夫です。

県内では海津大崎が好きですね。好きになったこの高島地域で仕事もプライベートもエンジョイしています。近々ビワイチに挑戦します！